

北風に落ち葉がカサカサと舞い踊る師走となりました。冬將軍はもうすぐそこまで近づいて来ているようです。

昨年に引き続きコロナで始まりコロナで暮れるという一年間でしたが、感染症は第 5 波が終わり、11 月になって岐阜県でも新規感染者数ゼロの日もあり小康状態です。岐阜県は 12 月 1 日から、大きな状況の変化があるまでとして、期限を定めずに現在の状況を平時と位置づけ

①飲食については時短制限無し、酒類提供可能、人数制限なし

②移動については不要不急の都道府県をまたぐ人の移動の自粛を要請しない

ことになりました。このままこの状態が続けば、年末年始に向けて帰省や県外への旅行、会食など自粛をお願いしてきたことが緩和になり、少しはコロナ前の日常生活が取り戻せそうです。しかし、コロナウイルスが死滅したわけではありません。新たに「オミクロン株」といわれる変異株の流行が懸念され、人流が多くなると感染拡大を繰り返してきます。引き続き、「基本的な感染防止対策」を油断なく継続し、感染防止に取り組んでまいりましょう。

村では国・県の指示により 3 回目のワクチン接種の準備を始めるとともに、今後補正予算を立てて国が実施する感染予防対策、経済対策を速やかに実施できるよう準備してまいります。

感染者数減少のこの機をとらえて、11 月は村長と語る会を 8 回、要望活動などで東京出張が 5 日間、文化展、映画上映会、成人式、森林づくりフォーラム、商工会青年部の花火大会など、計画していた行事が無事に実施でき、コロナ前のような多忙な日常が戻ってきた感があり充実した一か月となりました。行事等に携わっていただいた皆様と参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、村では令和 4 年度の予算編成に着手しました。コロナウイルス感染症対策が一番であり、村民の皆様を守るためワクチン接種などの感染防止対策と地域経済を守る対策、安心して住み続けていただけるよう福祉、医療、教育、子育てなど住民生活のサポートをしっかりと実施すること、人口減少の対策としての移住定住の促進、DX 時代(注釈)への対応、第三セクターの経営改革の推進など 16 の重点項目を柱に予算案を策定するよう指示いたしました。

自粛生活で我慢の一年間が過ぎようとしています。コロナと共生する生活からアフターコロナといわれるコロナ終息後の生活が一日も早く実現する事を願ってやみません。

今年一年間の皆様の村政に対する御理解と御協力に心から感謝申し上げ、来る新年が皆様にとって輝く未来であることを願いつつ年末年始を迎えたいと思います。

令和 3 年 12 月

東白川村長 今井俊郎

注釈:DX 時代

デジタルトランスフォーメーション=デジタル技術による(生活やビジネスの)変革